

ライフセーバー 資格取得への道のり

ライフセーバーの資格取得を目指す人が、数日にわたり資格認定講習会に参加し、海での実習などを受けました。

この講習会で16人の新たな「海の守護神」が誕生。今後は市内海水浴場をはじめとする海での活躍が期待されます。



AEDや胸骨圧迫などの実習（公民館）



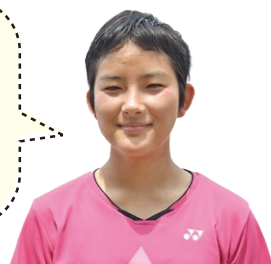
ライフジャケットの特性を学ぶ（プール）



要救助者を救出する訓練（海）

講習会に参加した
皆さんに聞きました。
今後の意気込み！

神崎地区に住んでいる高校1年生です。地元の海水浴場でたくさんの人に安心して楽しんでもらえるような存在になりたいです。



将来の夢は消防士です。人命救助につながる活動をしたいと思い受講しました。得た知識を将来の活動などに生かしていきたいです。



15年前からライフセービングクラブでサポーターとして活動しています。資格取得後は、ゴムボートでレスキューするなど活動の幅を増やしていきます。



海水浴場の清掃活動

海開きに向けて、神崎・野原海水浴場では、地域住民に加えてボランティアも参加し、多くの皆さんが海岸付近の除草や砂浜に漂着した木々などを丁寧に拾い清掃しました。

野原地区の清掃では、地元住民の高齢化もあり、今年は市としてボランティアを募ったところ、市外からも清掃活動に参加いただきました。



6月16日、神崎海水浴場で計250人が参加



6月22日、野原海水浴場で計110人が参加

今年、野原地区では
初めてボランティアが参加！

海の守護神たち



LIFESAVERS

夏といえば「海」。家族や友人たちと海のレジャーを楽しむ人も多いのではないだろうか。しかし、毎年、海の事故は全国で約1,700件報告されています。それらの事故は、家族が目を離した隙に子どもが溺れたケースや沖まで泳いでいて流されるケースなど、さまざまなことが要因となって起こっています。

市内の海水浴場には、事故を未然に防ぎ、快適な海のレジャーを楽しんでもらうため、監視員が配置されています。また、海水浴に訪れた人がけがをしないように、毎年、海開きに向けて地域の人やボランティアたちが、海岸の清掃活動を実施されています。

さらに、今年から神崎海水浴場では、ライフセーバーの資格を持つ人を中心に「見守り」ができる態勢が整っています。

夏本番を迎える中で、皆さんに安全・安心に海のレジャーを楽しんでもらい、また来たいと思ってもらえるように取り組んでいる「海の守護神」への道のりなどを紹介します。

《観光振興課》